

第 154 号

2019 年 10 月 25 日

議 平生町
議会だより

発行 平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者 中川 裕之
編集 議会広報広聴調査特別委員会
印刷 中村印刷株式会社

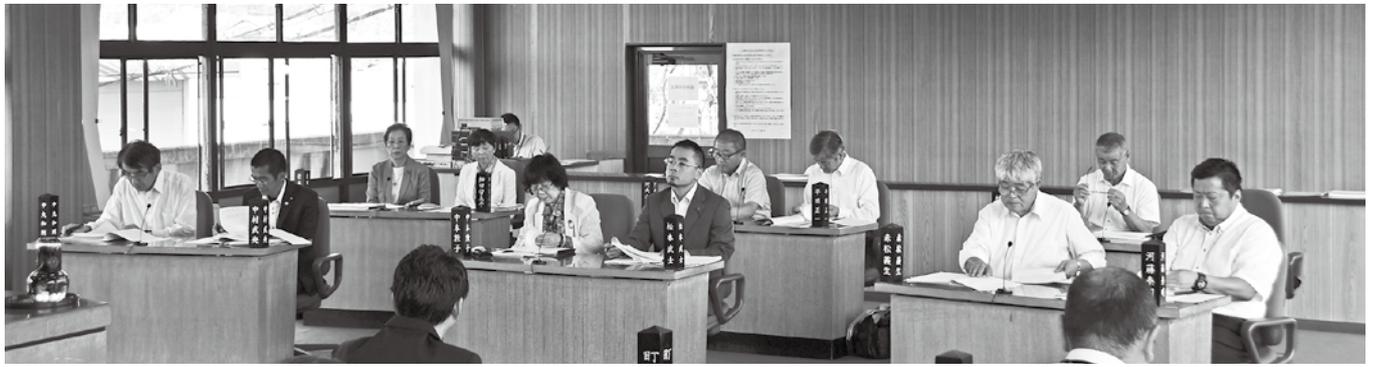


9月14日 平生中学校 運動会

9月
議会報告

定例会・臨時会	2ページ
決算特別委員会	3ページ
いっぱん質問	4～9ページ
議会研修報告	10ページ





9月 定例議会

2019年第6回平生町議会定例会が、9月12日から26日までの15日間の日程で開かれました。議案として、補正予算3件、条例3件、各会計の決算認定7件、教育委員の同意が上程され、審議の結果、いずれも全会一致または、賛成多数で可決・同意されました。

一般会計補正予算

1億4,345万円増

予算総額

51億2,954万円

主な歳入

▽地方交付税

1,299万円

▽繰越金

1億2,761万円

主な歳出

▽財政基金積立

3,990万円

▽町議選

372万円減

▽保健センター空調機

改修 121万円

▽森林環境整備基金積立

120万円

▽平生小前の歩道橋撤去

費用 100万円増

▽宇佐木地域の河川改修
650万円



▽国道188号柳井平生バイパス調査費等
290万円

▽佐賀小プール北側の斜面の整備
220万円

▽文化財保護補助金
100万円

▽図書館の図書・本棚購入費
100万円

▽農業・土木災害復旧
3,780万円増

常任委員会審査報告

総務厚生

付託された案件を9月19日に慎重に審査した結果、すべて全会一致で可決しました。

主な質疑

質 マイナポイントについて、町内業者の利便促進が重要になるが、商工会で電子マネーは検討課題としてあるのか。

答 スマホのQRコード決済を想定しており、国も事業者に負担のかからないよう進めている。

質 児童クラブ支援員2名の増加理由は、夏休み中、利用者

2019年第5回平生町議会臨時会
8月30日第5回臨時会が開かれ、審議の結果下記のとおり可決されました。

① 2019年度平生町一般会計補正予算(10月からの幼・保無償化に伴うもの 全会一致)

② 行政財産の使用料に関する条例一部改正 (全会一致)

③ 消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴う関係条例の整理に関する条例 (反対討論有 賛成多数)

※マイナポイントとは
マイナンバーカードを取得して、マイキーIDを設定後、キャッシュレス決済をすともらえるポイント

が増えたので、平生小学校を利用し支援員を増員したため。

産業文教

付託された案件を9月20日、慎重に審査した結果、すべて全会一致もしくは賛成多数で可決しました。

主な質疑

質 森林環境譲与税はイノシシの駆除に使えるか。

答 当面、管理のできていない個人の森林の適正化に充当したい。

質 特産品センターの修繕費の負担は。

答 指定管理ではあるが協定書により、町がする。

反対討論

森林環境整備基金の使途について問題はないが、東日本大震災の復興住民税の期限の終了を待つて看板を森林環境税と掛替えて所得の低い人からも一律に課税することは問題。財源は、交付税や国の一般会計で確保すべき。

赤松義生 議員



決算特別委員会

平成30年度一般会計決算 歳入 51億818万2,757円 歳出 48億7,207万892円 賛成多数で認定

国民健康保険、下水道、漁業集落環境整備（佐賀地区の公共下水）、介護認定審査会、介護保険、後期高齢者医療の6特別会計決算は、全会一致で認定しました。

なお、財政力指数 0.41 → 0.42、公債費負担比率 13.0% → 12.1%、実質公債費比率 13.7% → 13.3%、将来負担比率 164.3 → 155.1%と主な指標が概ね向上しています。

一般会計決算審議の 主な質疑

質 町のホームページへのアクセス数が減少傾向。どう分析しているか。
答 スマホでもアクセスできるようにし、トップ画面をリニューアルしたりしているが、分析については詰めていない。

質 昨年度中に「地域おこし協力隊員」1名と「集落支援員」3名が辞めている。業務や勤務条件等採用時に提示しているか。
答 辞めた理由について、個人の事情もあるが、相談体制にも問題はあった。業務は、採用時に確認し、採用後は、確認事項として個人ごとに知らせている。

質 ふるさと納税が、10%アップしている。胸を張っていい成果と思うがどう評価なのか。
答 担当レベルではよくできたと思うている。返礼品を85品目に拡充。さらに寄

付金増を図っていききたい。

質 平生町における在宅医療の課題とそれに対する取り組みは。
答 現在でも在宅医療の医師にはかなりの負担がかかっている。医師や訪問看護を担う事業所を増やしていかなければいけない。

質 児童クラブの利用者が増え、空き教室を利用していが手狭ではないか。嘱託職員の休憩は。
答 定員いっぱいでは手狭である。現場から支援員が足りないとの声があり、補助員をつけてやりくりした。支援員は6時間以上勤務しないようにということに対応している。

質 空き家対策について、国の制度を利用できる体制にあるか。
答 空き家を崩す補助制度は、現在活用していない。補助の対象となる特定空き家の認定作業を進めている。

質 コメの作付面積が減少している。後継者不足や太陽光発電の影響など原因があると思うがどうか。
答 太陽光発電ができるからといって転用に制限をかけることは基本的にできない。小規模の農業者耕作面積を維持していかなければならないので、支援を検討していく。

質 生活環境整備の要望を出してもなかなかやってもらえないと聞かすが、どういう状況か。
答 年間40〜50件の要望があり、計画的に整備している。2〜3年前に出されたものはまだ対応できていない。

反対討論

決算指標並びに地方公共団体健全化判断比率の4指標は改善され、「ふるさと納税」では成果をあげられており、以上2点については評価する。
 しかし、地域が抱える諸課題の解決・財政危機突破を図り、参加と協働の町づくりを進めるとされてきたが、年度中の「地域おこし協力隊員」「集落支援員」「地域交流センター嘱託職員」の退職は、地域の負担を増大させた。財政の危機突破というが、財政基金への積立金が、取り崩し額を

監査委員の 決算審査意見

歳入面の減額について、町税と地方交付税では昨年と同程度の額となったが、財政基金からの繰入金、国県支出金の減額により減少。歳出においては、財政基金への積立金の減額や耐震、防災関連事業費の減額により減少。実質単年度収支は、財政基金への積立金が取崩し額を上回ったものの積立額が29年度を下回り、赤字。
 不用額の多いものは、内容、原因、減額補正への対応などを聴取した。時間的余裕がありながら、減額補正がなされていないものもあり、確実な予算執行、管理が求められる。
 財政状況が厳しさを増す中、財源確保とともに、経費の縮減、事業の選択と集中を行い、財源の適正な配分に努め、健全な財政運営を図らねばならない。

上回ったものの積立金額が、前年度を下回ったため実質単年度収支は赤字となった。
 財政調整基金、現在の残高は4億2,100万、今後庁舎建設の財源として取り崩され減少する見込み。後期基本計画では、平成32年度に財政調整基金を5億円超にする計画だが困難と思う。
 新庁舎整備は、今しかないといえ、財政運営の指標、目標に対して説明責任を果たさなければ、財政危機突破とは呼べない。
 河内山宏 議員



中本 敦子 議員

いっぱん質問



が聞きたい

質 曾根地域交流センター周辺のより有効な活用

答 具現化に取り組んでいく



曾根地域交流センター

質 センターへの進入口は狭く避難場所としても緊急時、混乱が予想される。駐車場は13台で、第2駐車場は県道を渡って向かい側に位置し(思い出広場)使用は必要だ。敷地内には公園、バスケットコートがある駐車場の範囲と看板の設置は必要では。灯もないが対策は。旧熊南地域休日診療所廃止に伴い解体費清算済みだ。解体しバス停周りを広く活用すれば住民の安心安全になるのでは。

答 町長 今後、関係課の連携のもと、駐車場としての利用状況を確認しながら駐車できる範囲の表示及び駐車場看板の設置を検討していく。入口は今後、支障となる事例が発生した場合には適時検討していく。

質 フェンスと電話ボックスを撤去すれば、進入路が広がる。街灯の設置など地域の要望を受け、それに沿った方向性の具現化に取り組んでいく。

質 公共物・公共施設の管理について

答 関係所管で協力して管理を実施したい



旧熊南地域休日診療所

質 家電リサイクル製品を部署によってはテレビ18台を処分しているが、他に処分した備品と台数、未処理は。整理整頓し、一目でわかる管理と備品台帳との照合が大切ではないか。

答 町長 経年劣化による使用不能家電は一時的に保管し、適時処分する。本年度は冷蔵庫4台テレビ2台処分している。備品台帳の更新をし、町の備品については適切に管理していく。

質 廃止の旧熊南地域休日診療所建物の維持管理はどのようになっていくのか。解体費用は平成19年定例議会で議決とある。解体費用はどこにあるのか。

答 町長 旧熊南地域休日診療所は必要な建物と認識しているが、維持管理については必要最低限の経費をもって維持している。解体費用については一般財源内に留保されているのでこれを使う。



松本 武士 議員

質 児童虐待の法改正がされるが、取り組みはどうか

答 意識の向上に努めたい

質 平生町の児童虐待相談の件数と職員の研修などの対応は。児童相談所全国共通ダイヤル（189）、「愛の鞭ゼロ作戦」の周知・啓発の取り組みは。

小中学校では、校務文掌に児童虐待対応は位置づけられ研修が行われているのか。山口県は里親とファミリーホームを増やす目標を掲げている。協力できるか。

答 町長 虐待通告件数は9件。家庭相談業務に従事する職員の専門性が必要となってくる。

ポスター、リーフレット、しおりなどのツールを町内の窓口などに掲示、設置している。

県と児相と連携して制度を周知していき、里親の開拓につながる協力をしていく。

答 教育長 文科省から学校教育委員会などに出された「虐待対応の手引き」を各園、学校の教職員に配布し、意識の向上に努めた。



質 図書館の建て替え・改築予定と運営状況改善は

答 建て替えは難しい。運営を検討していく

質 昭和42年に開設された町立図書館の建て替え・改築の考えは。「元ほのぼのセンター」を改築するか新庁舎横に建設しては。「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に沿った運営は。基本運営方針・事業計画の公表、郷土資料の電子化、インターネット等の利用による外部の情報にアクセスできる環境の提供は。



昭和42年開設の図書館

答 町長 優先度の高い公共施設やインフラ等が他にも多く存在し、財政事情から考えれば現時点で検討課題として掲げることが難しい。

元ほのぼのセンター・新庁舎横は考えていない。

答 教育長 第4次総合計画や教育振興基本計画を通して方針を公表している。来館者のインターネットの利用に係る環境、郷土資料の電子化は検討していきたい。



中村 武央 議員

質 住民目線を忘れない施設運営をせよ

その他の質問

●幼・保無償化について

答 県に強く要望する

平成16年に供用開始された田名ふ頭において、物あげ場、荷さばき場、野積場、公園などを適切に管理できているのか。
地元と交わした約束や要望を全く無視した現在の施設運営の現状は断固として許すことができない。地域住民の目線に立った「適切な施設管理・施設運営」について、設置者・管理者の見解を尋ねる。



田名ふ頭 野積みの状況

開設時、前町長より山口県柳井土木建築事務所に要望文書と地元から山口県知事に利用などに係る陳情書が提出されている。これらを踏まえ平生町は適切な施設運営を強く県に要請する。

質

答 町長

質 水害の未然防止ができない理由は

答 県河川は要望し、町河川は管理する

これは防ぐことができた越水であり、人災とも言える事案である。なぜ事前に対応ができないのか。適切な維持管理について、管理者責任を問う。

質

答

町長

見るからに雑草などにより断面が確保されていない河川や水路がある住民からの指摘・要望があったにも関わらず、対応しなかったため、大雨の際に河川が越水した事実がある。これは防ぐことができた越水であり、人災とも言える事案である。なぜ事前に対応ができないのか。適切な維持管理について、管理者責任を問う。



雑草の繁茂した河川



細田留美子 議員

質 議会図書室機能の整備を

答 議会から要望や提案をいただきたい

質

政治・法律・行政などに関する資料を所蔵し、議員活動に役立てるための調査相談業務を担う施設である議会図書室は法律で附置することとなっている。議会は行政側とは異なる角度と住民目線で町の将来を考えている。議会図書室の機能充実に議会活動の向上につながり、行政側にも良い効果を与え、思うが町長の見解を問う。

答

町長

地方自治法100条第19項において、議員の調査研究に資するため附置が定められている。本町は図書室自体機能を有しておらず、議会事務局内で図書刊行物の閲覧等行っている。今後の議員活動や調査等に活用いただけるよう図書室の具体的な機能等については議員の皆様方から要望や提案をいただきたい。



議会図書室

質 道路など生活基盤の安心を望む

答 なるべく多くの事業を進めたい

質

町内の道路や橋りよの多くが老朽化しており、住民の生活基盤がおびやかされている。道路等の住民の要望の現状といつ対応できるかなどの情報公開はできないか。

答

町長

道路・橋りようは、点検し、現地を精査し、優先順位をつけ計画的に整備を行っている。年間50件ぐらい地域の要望がある。すぐに対応できるものは即実行し、要望後、一年過ぎた場合は状況を報告する。自治会内でできないものがあるが、町としても考えるが、すべては難しいので続けてほしい。国の施策をうまく利用し、知恵を出してやっていきたい。



かけかえる共栄橋



赤松 義生 議員

質 福祉医療の負担金は、県にも負担を求めるべき

答 国・県に対して強く要望していく

その他の質問

- 生活困窮者の把握について
- 「国連家族農業の10年」が開幕、平生町の現状は



平生中央児童館

質

山口県では以前から「カク福」といわれる優れた制度が行われてきたが、県が自己負担制度を導入したため、その部分を市町が負担するようになった。

①その影響額は、町村会を通じた事業による助成制度の拡充や自己負担の撤廃などをより強く要望していく。

②町村会を通じた事業による助成制度の拡充や自己負担の撤廃などをより強く要望していく。

③子ども医療費は国と近隣市町の動向を見て段階的に拡充を図りたい。

答 町長

質 宇佐木・曾根沖地区の水害対策について

答 定期的なしゅんせつ・除草に努める

質

平生町は、水害に関わりあいの深い町であり、ここ数年間は大事に至らず推移してきた。

しかし7月18日の豪雨では短時間であったが、宇佐木の信号機周辺と曾根沖地区では水があふれた。

幸い両地区とも、床上浸水にはいたらなかったが早急に取り組むべき。また、長期的な対応はどうか。

答

町長

7月18日の豪雨では47mの時間降水量を記録し、町内8地区で道路などが冠水した。早急な取り組みとしては、河川・水路断面の確保のため、しゅんせつや除草などを実施する。

長期的対策としては、大内川については、国道のバイパス計画の進捗に合わせて改良を検討し、曾根沖地区については、定期的なしゅんせつの実施により冠水の防止に努めたい。



崩れている室津半島スカイライン入口看板付近



中丸 和則 議員

質 人口減少対策 一空の物流の拠点へー

答 様々な側面から検討していく

質

①人口減少対策として、企業誘致対策室を設けてはどうか。
②かつて、海上交通で栄えたように白鳥古墳―これからの令和の平生町は、ドローンを使い、九州と四国の中間にある地形を生かし、空の物流拠点とし、人口減少対策はもとより、繁栄へと進めようか。

答 町長



白鳥古墳とドローン

①企業誘致については、未来戦略でも目標を掲げ、取り組みを進めている。対策室の設置については、職員数や業務バランスを考慮しながら検討したい。
②ドローンの活用については、様々な用途への実用化に向け、実験が進んでいることから、実用化が認められた際に、その活用について考えていく。

教育委員任命に同意



富田 克敏氏

教育委員会委員の銭廣義和氏が任期満了。後任に現在、平生中学校PTA会長を務められている富田克敏氏の任命に、全会一致で同意しました。

新庁舎整備調査特別委員会

8月2日および9月5日に新庁舎整備調査特別委員会を開催し、新庁舎建設基本構想・基本計画などについて、執行部との協議を行いました。
今後、適切に協議を重ねながら、基本設計・詳細設計を経て、新庁舎建設を進めていくことを確認しました。

魅力ある議会づくり調査特別委員会を設置！



無投票であった町議選の現状やこれからの町議会の在り方などについて調査することを目的として、令和元年9月26日の本会議にて「魅力ある議会づくり調査特別委員会」設置議案が提出され、全会一致で承認されました。
委員構成は、議長・副議長を除く全議員であり、議長・副議長はオブザーバーとして参加し採決には加われません。
委員長は河藤泰明議員、副委員長は河内山宏充議員に決定しました。

議会研修報告

柳井地区広域市町 議会議員研修会

令和元年7月25日、柳井市のベルゼにおいて、講師に米田英輝氏を招き「議会におけるタブレット型端末の活用について」を主題に研修をしました。

県内では3つの議会がタブレット端末を導入しているようです。



山口県町自治 研修会

山口県町議会実務 研修会

山口市のセントコア山口において、講師に議会事務局実務研究会の議会アドバイザー吉田利宏氏を招き「わかりやすい条例の見方、作り方」について研修を受けました。今後の活動に反映したいと思えます。



山口市のセントコア山口において、講師に政治評論家、有馬晴海氏を招き「どうなる日本の政治と経済」を講演テーマとして今後の政治経済の展望について研修しました。



議会の 動き

令和元年	7月10日	町村議会広報 クリニック
7月17日	7月12日	一期議員研修会
7月25日	7月17日	議会広報広聴 調査特別委員会
7月26日	7月25日	柳井地区広域市町 議会議員研修会
8月2日	7月26日	平成30年度会計 決算審査
8月2日	8月26日	新庁舎整備調査 特別委員会
8月28日	8月2日	議会運営委員会
8月30日	8月30日	第5回臨時会
9月5日	8月30日	議会全員協議会
9月5日	9月5日	新庁舎整備調査 特別委員会
7月9日	7月9日	議会広報広聴 調査特別委員会
7月2日	7月2日	議会広報広聴 調査特別委員会
7月25日	7月25日	新庁舎整備調査 特別委員会
7月25日	7月25日	議会全員協議会
7月17日	7月17日	議会広報広聴 調査特別委員会
6月17日	6月17日	第4回定例会

(R元・6/17)
(R元・9/11)

令和元年 12月定例会会期 (予定)

12月11日(水)	9時	本会議
12日(木)		本会議
16日(月)		産業文教常任委員会
17日(火)		総務厚生常任委員会
19日(木)		議会運営委員会
20日(金)		本会議

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うことなどお願ひします。

- ・字数 400字以内
- ・提出先 平生町役場議事事務局 議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもありますが、ご了承願ひします。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

地球環境の悪化により、水の循環が激しくなり、干ばつ、大雨が世界各地で多発しています。

今、地球を守るために一人の少女が温暖化の影響を受けるすべての人を助けたいという訴えが世界の若者を動かしています。

たった一人から始まった温暖化対策が政治と国際関係も動かし、ヨーロッパでは人々の温暖化に対する意識も変わってきました。

今、温暖化のせいか日本の近海で台風が発生し、すぐに日本にやってくる台風があり、今年の台風15号がその例です。

15号は東京湾を通り右側になる千葉は甚大な被害が出ました。

平生町を襲った平成3年の台風19号を思い出します。

自然災害の多い日本は真剣に温暖化対策に取り組むべきではないでしょうか。

村中 仁司